

クラウンブリッジ補綴（ほてつ）科

歯の見た目やかみあわせで悩んでいませんか？

補綴科ではむし歯などによる部分的な歯質の欠損や、歯そのものを失った部位に対して治療を行い、かみ合わせや見た目を回復します。

クラウン(かぶせ)／ブリッジ

接着ブリッジ



部分入れ歯

総入れ歯



金属アレルギー

☆口の中に現れる症状

・接触(粘膜)皮膚炎

金属と直接触れる部分に現れる炎症。
(赤み、ただれ、かゆみ、痛みなど)

・扁平苔癬

粘膜や舌にできるレース模様の白い斑点。
かぶれや出血を伴うこともあります。

☆全身に現れる症状

・掌蹼膿疱症(しょうせきのうほうしょう)

手のひら、足の裏にできる水泡。

・蕁麻疹(じんましん)

短時間で赤い斑点が現れたり消えたりするもの。

検査で歯科金属が原因と特定された場合、原因と思われる一部もしくは全ての金属を除去し仮歯で経過をみた後、原因金属を使用しない土台、かぶせ／つめものを作ります。

顎関節症・口腔顔面の痛み

☆顎関節症とは？

“あご”の関節や筋肉の病気で、口を動かしたときに“あご”が痛い、音が出る、口が開きづらいなどの症状が出ます。

☆歯ぎしりが原因で...

日中や睡眠中のくいしばり、歯ぎしりが原因で歯がすり減ると言われています。かみ合わせる筋肉の筋肉痛が起こることもあります。

咬耗(歯のすり減り)

かぶせの破損



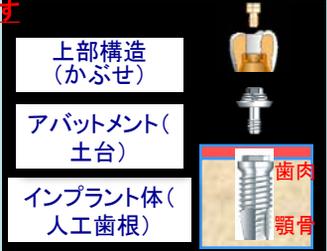
口腔インプラント治療

歯根のない欠損部の骨の中にインプラント体というチタンの人工歯根を埋め込み、その上に土台をねじ止めし、かぶせる治療方法です。取り外しが必要なく、見た目や咬む機能をご自分の歯のように回復できます。

インプラントの基本構造

安全に行うために診査が必要です

- レントゲン診査・CT診査
- 模型診査
- 歯周病の診査
- 全身状態の診査
- 生活習慣の問診



上の前歯を事故で一本失った患者様にインプラント治療を行った写真です。両隣の歯を削ることなく、見た目も健康な歯と全く区別がつかません。

治療前

アバットメント(土台)

治療後



多くの歯を失った方も口腔インプラント治療は可能です。人工の歯をインプラント体に固定できるため、取り外しの入れ歯で困っておられる方におすすめです。

アバットメント(土台)

治療後



CT撮影等の画像診査、模型診査など十分な術前診査により適応を検討します。その後、2回の手術を経て仮歯、最終的な「かぶせ」ができます。費用は保険適応外となります。

—睡眠時無呼吸症候群をご存じですか？—

☆睡眠時無呼吸症候群

睡眠中に呼吸停止が繰り返される病気です。呼吸自体が停止する場合と上気道(空気の通り道)が閉塞して起こる場合があります。昼間の眠気や異常行動が現れ、高血圧、不整脈、心不全等に影響します。

☆睡眠時無呼吸症候群の歯科的治療(口腔アプライアンス療法)



睡眠中に口腔アプライアンスを装着し、下あごを前方に保持し気道の詰まりを解消します。



岡山大学病院
OKAYAMA UNIV. HOSPITAL

しか きんぞく がいらい 歯科金属アレルギー外来

歯科治療で用いる金属によってアレルギーが出現する場合があります。

歯科治療では金属を用いたちりょう使っています。金属は丈夫で良い材料ですが、残念ながらこの金属によってアレルギーが引き起こされる人が増えてきました。

お口の中の金属によるアレルギーの症状

症状はお口の中に限らず、全身に出ることもあります。手のひらおよび足の裏にかゆみが出るのが最も多くと言われています。症状が強い場合は水ぶくれができた、爪が変色もしくは変形することがあります。

☆口の中に現れる症状

- ・接触(粘膜)皮膚炎
金属と直接接触する部分に現れる炎症。(赤み、ただれ、かゆみ、痛みなど)
- ・扁平苔癬(へんぺいたいせん)
粘膜や舌にできるレース模様の白い斑点。
かぶれや出血を伴うこともあります。



接触(粘膜)皮膚炎

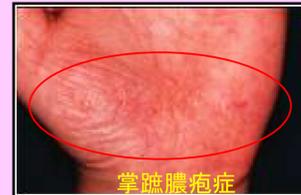


扁平苔癬

☆全身に現れる症状

- ・掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)

手のひら、足の裏にできる水泡。



掌蹠膿疱症

- ・蕁麻疹

短時間で赤い斑点が現れたり消えたりするもの。

金属アレルギーの検査

パッチテスト

現在行われているのは、「パッチテスト」と呼ばれている検査です。「パッチテスト」とは背中や腕に試料を貼り、48時間後に除去し、48時間後、72時間後、7日後に皮膚反応を確認する検査です。

このように単純なテストゆえ、残念ながら「パッチテスト」でも正しく診断できる確率は100%ではありません。しかし、現在最も有用なテストが「パッチテスト」です。



貼薬直後

除去後
48時間

アレルギー反応

お口の中の金属元素分析

これまではお口の中の金属を分析するには大きく削る必要がありました。当科ではお口の中の金属を取り除いたり大きく削ったりすること無く、元素分析を行うことができます。

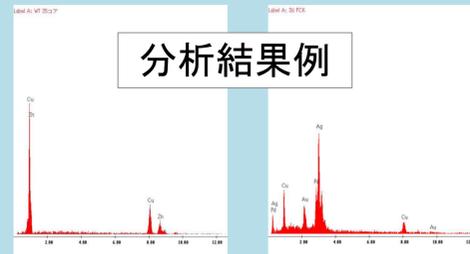


口腔内金属を研磨



電子顕微鏡など専用装置を使い、含有金属を調べる

分析結果例



金属アレルギーに対する治療

- **対症療法**: アレルギーの金属が特定できない場合、または原因除去が困難な場合などに行います。治療は、ステロイド軟膏、非ステロイド軟膏の外用療法(塗り薬)と抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬、ステロイドの内服療法(飲み薬)があります。
- **原因除去療法**: アレルギーの金属がほぼ特定された場合はその金属を除去し仮歯(樹脂製)を装着します。金属を使用しない最終的なつめもの・かぶせは保険内で対応できない場合がありますので、治療に先立ち充分御相談させていただく必要があります。

掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)



初診時

原因金属除去



終診時



岡山大学病院
OKAYAMA UNIV. HOSPITAL